

保育計画成果報告書

法人名等	Emile. K スクール
施設名	Emile International School 九品寺園 (現在は Emile International School 九品寺)
報告者(役職)	菅家 美千代 (施設長)
住所・連絡先	熊本市中央区九品寺1丁目1-3
	☎ 096-371-0888 E-mail info@emil-k.jp

○タイトル (保育計画)

行事や日々の保育活動に自ら意欲的に参加できるような環境設定

○主な助成備品

国際理解紙芝居 紙芝居フレーム パネルシアターグッズ 積木クッション パペット
平均台セット Big 絵本 カーペット

1. 保育計画策定の目的

- ・英語の教材を通して行事への興味、関心を深める
- ・低月齢から体のバランスや運動能力を養う
- ・保育室内の環境設定の整備

2. 具体的な実施内容

【国際理解紙芝居・紙芝居フレーム】

季節の行事を迎える前に、その行事に込められた意味や関連する単語に触れている。

また、大きくなってから日本の行事を英語で説明する際に、この内容を思い出せるように繰り返し子どもたちと楽しんでいる。





【パネルシアターグッズ】

季節の行事などの導入にパネルシアターを取り入れた。

わかりやすく、親しみやすいイラストで、イベントや行事に理解や興味を深めていた。



【積木クッション】

月齢によって並べる順番や間隔など、置き方を変えながら遊んだ。

柔らかさを活用して、月齢の低い園児も楽しめるように、定期的に保育室に並べ、遊びに慣れるようにした。



【パペット】

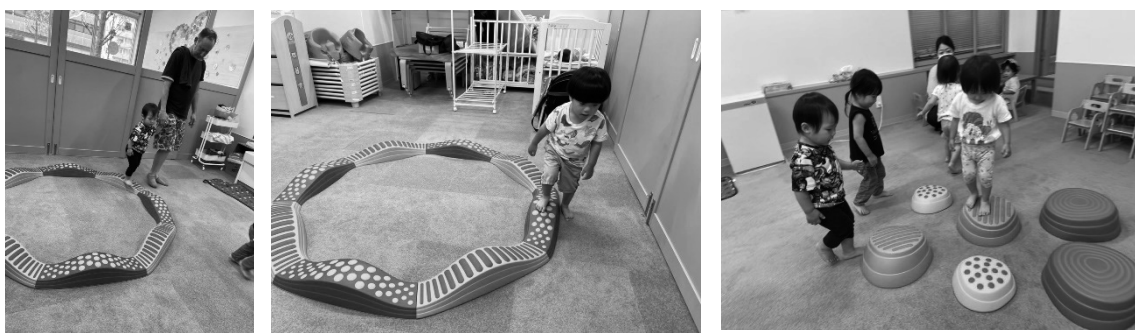
サークルタイム（お集まり）で活用。

定期的にパペットを登場させ、みんなのお友達として活躍している。



【平均台セット】

バランス感覚を養うため、また、雨天時の室内活動をより楽しめるように保育に取り入れている。大きさや高さが異なる物の上を歩いたり乗ったりすることで、自らバランスを取ろうとするように促した。



【Big 絵本】

サークルタイムや、保育中の待ち時間など、保育のあらゆる場面で活用している。

大きいイラストで、園児全員への読み聞かせに適しており、子どもたちは絵本の中の色や形を楽しんでいる。





【カーペット】

保育室内の空間をわけるために、2種類のカーペットを使用している。

玩具や活動の空間をわけるために、部屋のコーナーにカーペットを設置。その上で絵本を読んだり、コーナー遊びを楽しんだりする姿がよく見られるようになってきた。また、カーペットの絵や数字を使い、形や色、物を探すゲームなどに活用している。



3. その結果と評価

全ての日本の行事を英語で行う当施設では、そのイベントの意味や由来、内容などを2つの言語で理解する必要がある。紙芝居やパネルシアターなどのイラストなどを通して行事に触れることで、言葉で説明するよりも遥かに内容を深く理解することができているように感じる。また、毎年同じ時期に繰り返し教材を使用することで、記憶に残り、自分の言葉でも日本の行事等を相手に伝える力を養えるようになると期待している。

また、平均台や積木クッションを使って遊ぶことで、最初は保育士の手助けが必要だった子ども、何度か繰り返すと自分だけで挑戦しようとする意欲が養われているようであった。体幹や運動能力だけでなく、子どもたちの自信や達成感にもいい影響を与えている。当施設で取り入れているコーナー保育においては、カーペットを導入したことで、子どもたちが自ら空間を把握し、“この場所では〇〇をする”といったことを理解している姿も見られるようになった。保育の流れがよりスムーズになり、保育者にとっても子どもたちへの指導や見守りがしやすい環境となった。

4. 今後の課題と展望

全ての備品が低月齢から楽しめる物であるため、1、2歳児はもちろん、発達の違いが大きい0歳児の活動への取り入れ方を今後より工夫し、子どもたちの日々の成長への刺激となるように、職員間でも意見を出し合って上記の備品を活用していきたい。

特に、紙芝居やパネルシアターは毎年繰り返し行事に取り入れ、一年ごとの子どもたちの記憶や理解を検証していきたい。

以上